

製品安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	BPE ウシ脳下垂体抽出液
製品名(製品コード)	BPE ウシ脳下垂体抽出液 (KK-5102)
SDS整理番号	KK5102_J-3
会社名	倉敷紡績株式会社
住所	〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-5 クラボウ寝屋川テクノセンター3F
担当部門	環境メカトロニクス事業部 ライフサイエンス部
電話番号	072-820-3079
FAX番号	072-820-3095
緊急時連絡電話番号	ライフサイエンス部 バイオ営業課 072-820-3079
推奨用途及び使用上の制限	正常ヒト細胞培養用増殖添加剤、研究専用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

GHS区分に該当する項目はない

GHSラベル要素

絵表示なし
注意喚起語なし

その他の危険有害性

適当な保護衣、手袋及び眼・顔面用の保護具を着用する。
皮膚及び眼との接触を避ける。
眼と接触した場合は、直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。
事故の場合又は気分が悪いときは、直ちに医師の診断を受ける。(可能であればラベルを示すこと)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 混合物(水溶液)

成分名	CAS No.	溶液濃度	化審法番号
ウシ脳下垂体抽出液 (BPE)	-	-	-

*これらの値は、製品規格値ではありません。

分類に寄与する不純物及び安定化添加物(濃度又は濃度範囲)

情報なし

毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸していない場合には人工呼吸を施す。
皮膚(又は髪)に付着した場合	気分が悪いときは医師に連絡すること。 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
眼に入った場合	皮膚刺激が生じた場合、医師の診断及び手当てを受けること。 最低でも15分間は水で注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	眼の刺激が続く場合、医師の診断及び手当てを受けること。 意識がある場合、水で口内をすすぐこと。 意識のない人には決して口から物を与えてはならない。
応急措置をする者の保護	気分が悪いときは医師に連絡すること。 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤	霧状水、泡、耐アルコール泡、粉末、二酸化炭素、乾燥砂を使用する。 周辺設備に適した消火剤を使用する。
火災時の特有危険有害性	炭素酸化物

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

	関係者以外の立ち入りを禁止する。 適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
封じ込め及び浄化方法・機材	不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。 回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い	保護具を着用し、換気を適切に行う。強酸化剤との接触を避ける。
配合禁忌等、安全な保管条件	
適切な保管条件	容器を密閉しておくこと。 日光、雑菌から遮断し、清浄な換気の良い場所で保管すること。 指定温度範囲で保管すること。 保存温度：-20℃以下

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度、管理濃度(職業ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

許容濃度	日本産衛学会関連許容濃度データなし ACGIH 許容濃度データなし
管理指標	管理濃度データなし
保護具	呼吸器用の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具 衛生対策
	保護マスク、空気呼吸器など、状況に応じて着用する。 保護手袋を着用する。 推奨材質：非浸透性もしくは耐化学品ゴム 保護眼鏡・顔面保護具を着用する。 状況に応じて保護衣を着用する。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

当該化学品および成分の物理化学的性質

物理的状态	形状	凍結
	色(液体の状態での色調)	赤色～赤茶色
臭い		情報なし
pH		情報なし
融点・凝固点		情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲		情報なし
引火点		情報なし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		情報なし
燃焼性(固体、ガス)		情報なし
蒸気圧		情報なし
蒸気密度(空気=1)		情報なし
比重(密度)		情報なし
溶解度		情報なし
n-オクタノール・水分係数		情報なし
自然発火温度		情報なし
分解温度		情報なし
粘度(粘性率)		情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性および化学的安定性	通常の取扱い条件においては安定である。
--------------	---------------------

避けるべき条件 日光、熱
 混触危険物質 強酸化剤

11. 有害性情報

混合物としての有害性情報

急性毒性	経口	情報なし
	経皮	情報なし
	吸入(気体)	情報なし
	吸入(蒸気)	情報なし
	吸入(ミスト)	情報なし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		情報なし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		情報なし
感作性	呼吸器感作性	情報なし
	皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性		情報なし
発がん性		情報なし
生殖毒性		情報なし
標的臓器毒性(単回ばく露)		情報なし
標的臓器毒性(反復ばく露)		情報なし
吸引性呼吸器有害性		情報なし
その他		情報なし

12. 環境影響情報

混合物としての環境影響情報

水生環境有害性(急性)		情報なし
水生環境有害性(長期間)		情報なし
生態毒性	魚類	情報なし
	甲殻類	情報なし
	藻類	情報なし
残留性/分解性		情報なし
生体蓄積性		情報なし
土壤中の移動度		情報なし
オゾン層への有害性		情報なし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法 内容物、容器を地方または国の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際規則

陸上輸送 ADR/RIDの規定に従う。
 海上輸送 IMOの規定に従う。
 航空輸送 ICAO /IATAの規定に従う。

国連分類 非該当
 国連番号 非該当
 品名(国連輸送名) 非該当
 容器等級 非該当
 海洋汚染物質 非該当

MARPOL 73/78 付属書II及び
 IBCコードによる、ばら積み輸送
 される液体物質 非該当

国内規制

海上規制情報 船舶安全法に従う。
 航空規制情報 航空法に従う。
 陸上規制情報 消防法に従う。
 消防法 非該当

特別安全対策

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめる。
 落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

緊急時応急措置指針番号

直射日光及び高温下での輸送は避ける。
その他関係法規の基準に従い輸送を行う。
非該当

15. 適用法令

化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当
毒物および劇物取締法	非該当
消防法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当

16. その他の情報

改訂履歴	2018年4月27日作成 2024年2月8日改訂 2025年10月14日作成
------	--

記載内容の問合せ先	倉敷紡績株式会社 環境メカトロニクス事業部 ライフサイエンス部
-----------	---------------------------------

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。
また注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。